



平成 22 年 2 月 26 日発行

1 年学年だより
第 32 号

世田谷区立緑丘中学校

学年末考査終わる



昨日は関東地方に「春一番」が吹きました、このところ暖かい日が続き、春の訪れが近いことが感じられます。

3 年生は中学 3 年間の成果が試される高校入試に直面し、張り詰めた毎日を過ごしているようです。23 日（火）には都立高校の一次が学力検査が行われ 60 名が挑戦し、3 月 1 日の発表を待つばかりとなりました。1 年生も無言の教えを学びとっている様子です。この機会に、自分の進路についてご家庭でも話し合う機会を持たれてはいかがでしょうか。

さて、本日無事に学年末考査が終了しました。生徒のみなさんは、とりえずホッとしている様子です。来週からテストが返されますが、出来なかったところや分からなかったところをそのままにせず、復習をして欲しいと思います。来週からは 3 月に入り、2 年生になる準備期間となります。学習面でも生活面でも生徒のみなさんの成長を期待したいところです。

〇〇が苦手な人へのアドバイス



学年だより第 30 号で載せた「テスト前にはこんなことをしています」はお子様の参考になったでしょうか。今回の学年だよりでは、2 年生になる準備期間である残り 1 ヶ月をどのように過ごしたら良いのかをお子様と一緒に話し合っていたいただきたく、同じ中学生からの「各教科が苦手な人へのアドバイス」を紹介したいと思います。

<各教科が苦手な人へのアドバイス>

【国 語】

★国語で苦手といえば、だいたいみんな「漢字」「文法」が中心だと思います。漢字はとにかく書いて覚えるのと、その字を使った熟語で暗記するのもいいと思います。文法は用語の意味を覚えて理解して、それがどういうものか知っていればいいと思います。

☆文章で答えることが苦手な人は、まず「何を聞かれているのか」に短く答えてみるのがいいと思います。例えば「うれしかったら」など。その答えに「いつ」「どこで」「だれが」「どんな

ふうに」などを修飾していけば、簡単に問題が解けて、そのうちに国語的な考え方が身につくと思います。また漢字が苦手な人は、日常生活の中に漢字を取り入れるように心掛ければ、自然に覚えられます。

【社 会】

◆僕自身は社会（地理・歴史）については暗記していくので、ずっと机に向かって覚えようとしても、なかなか覚えられません。そこで、3 つ覚えたら、10 分休んでもう一度覚えるなどを繰り返して、間に休みを入れると意外に覚えられます。（そして、書く聞く読むを繰り返す）

◇歴史は、時代の流れや人物、出来事を覚える。そして内容を理解する。あとは自分のやる気次第。初めからあきらめてはダメ。常に満点を取るつもりでいる。

【数 学】

●苦手意識は持たないようにしよう。“まぐれあたり”をねらわないように。何を求められているかを納得のいくまで問題を読むようにしたほうがいい。そして、「世の中に解けない問題は無い！！」と思い込む。

○がんばろうと思っている人は、ぜひ家で計算をひたすら解いたり、文章問題を早く理解するために何度も読み、想像しながらやってみるのは結構いい！公式を覚える。

【理 科】

■苦手だからといって苦手な教科を嫌いにならないで、好きになって楽しく授業を受ける。「苦手だから勉強しない」ではなく、苦手だからこその他の教科より、より多く勉強をする。苦手な教科を好きになることが大切！

□とにかく教科書をこまかい所まで読んでみたり、ノートに何度も書き取ってみたり、あきらめないでがんばる！たまに、問題集や配布されたプリントばかりやってあきてしまった時、資料集や教科書などを開いて見るだけでも効果がありますよ！

【英 語】

▲英語は第一に「単語」を覚えること。それには練習あるのみ。あとは文章です。授業中に先生がノートに引かしてくれるアンダーラインや英語のパートナーのポイントをよく読んで、文の作り方を覚えましょう。

△英語が苦手でも、毎日教科書を音読するのいいと思います。特にこの教科は、アクセントのつくところなどは大切です。英語に慣れるためにも音読をするのいいです。

<裏面に続きます>

